

指定袋制度導入に関する 事業所アンケート調査結果

小山広域保健衛生組合

令和5年6月

背景および目的

小山市・下野市・野木町で発生した燃やすごみ(可燃ごみ)は小山広域保健衛生組合の中央清掃センターで焼却処理を行っておりますが、近年燃やすごみの排出量が増加傾向にあり、燃やすごみの削減が喫緊の課題となっております。

そこで小山市・下野市・野木町・小山広域保健衛生組合では燃やすごみ削減に向けた様々な施策に取り組んでおり、その一環で先行自治体において燃やすごみ削減に大きな効果を挙げている“指定ごみ袋制度”を家庭系・事業系の燃やすごみを対象に導入する方針で検討を進めてきました。

令和4年11月から12月には、家庭系のごみの排出実態を把握するとともに指定ごみ袋制度に対する御意見を伺うため、住民アンケートを実施し、制度の検討を行いました。

今回、家庭系と事業系に共通の指定ごみ袋制度を導入するにあたり、事業系ごみの排出実態を把握するとともに指定ごみ袋制度に対する御意見を伺うため、事業所を対象としたアンケートを実施しました。

アンケート条件

1. 対象

小山市・下野市・野木町にある事業所のうち、中央清掃センターへの事業系可燃ごみの排出量が多い事業所を対象としました。

【事業所数】:514

【選定方法】:中央清掃センターへの搬入実績と収集運搬許可業者への照会により抽出

2. アンケート回答数・配付枚数・回答率

(1)事業所の所在地別

事業所所在地	回答数	配布枚数	回答率
小山市	107	417	25.7%
下野市	27	70	38.6%
野木町	3	27	11.1%
合計	137	514	26.7%

(2)事業所の排出方法別

排出方法	回答数	配布枚数	回答率
直接搬入	8	35	22.9%
収集運搬委託	129	479	26.9%
合計	137	514	26.7%

3. アンケート実施時期

令和5年4月から5月にかけて実施

4. アンケート方法

配付方法:対象の事業所にアンケート案内を郵送

回答方法:アンケート案内に記載の回答フォームにアクセスし回答

5. アンケートの項目

(1)事業所属性について Q1~6

(2)事業所での廃棄物処理について Q7~12

(3)可燃ごみ排出に使用しているごみ袋について Q13~18

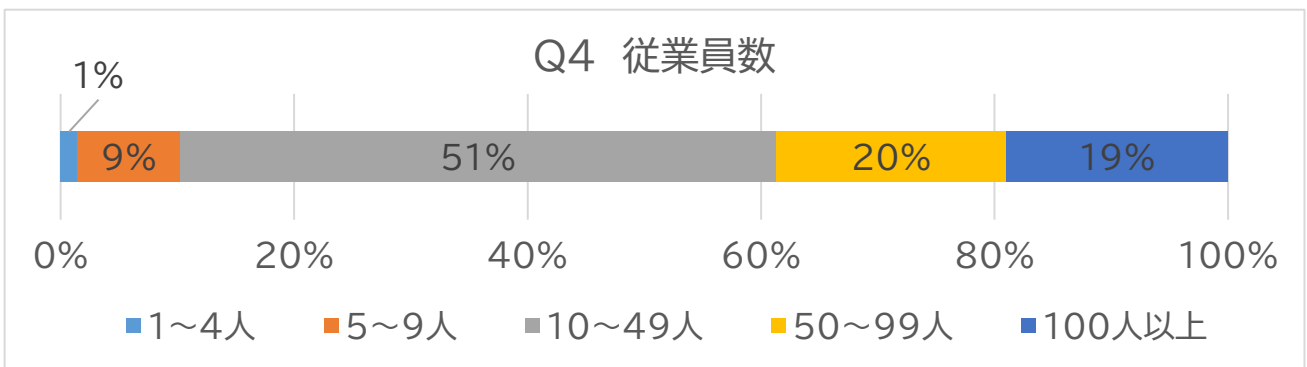
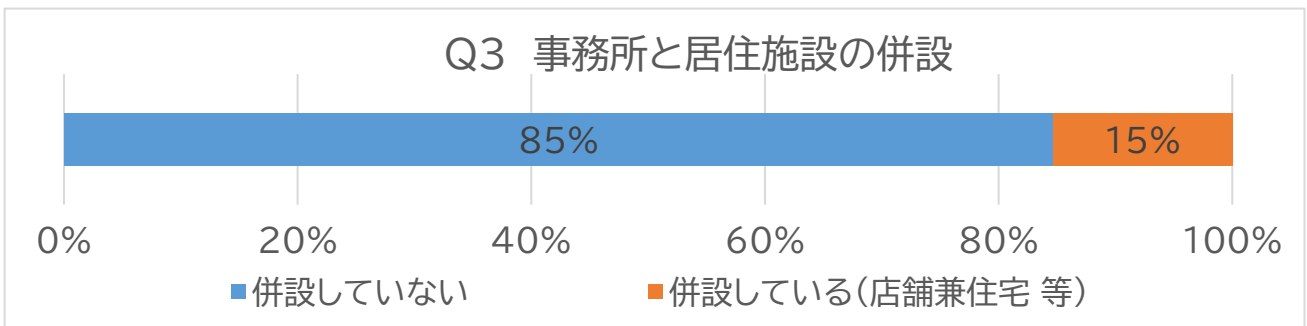
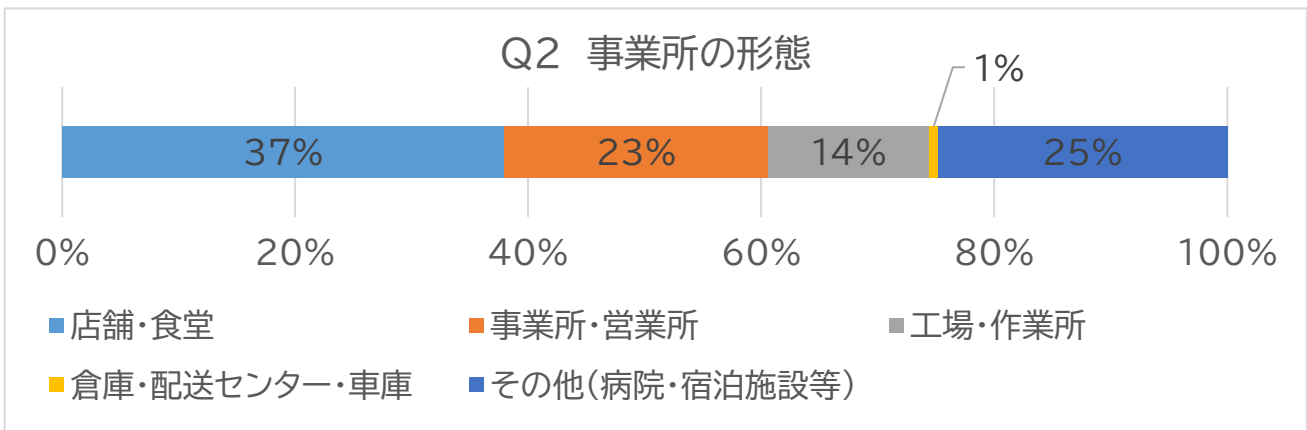
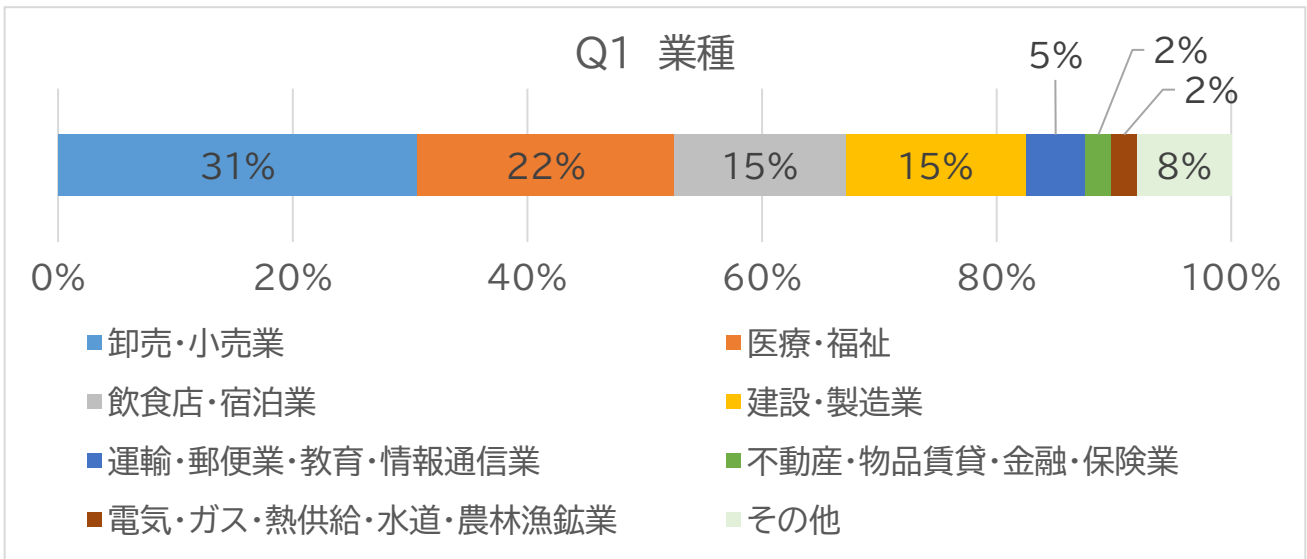
(4)指定ごみ袋制度について Q19~23

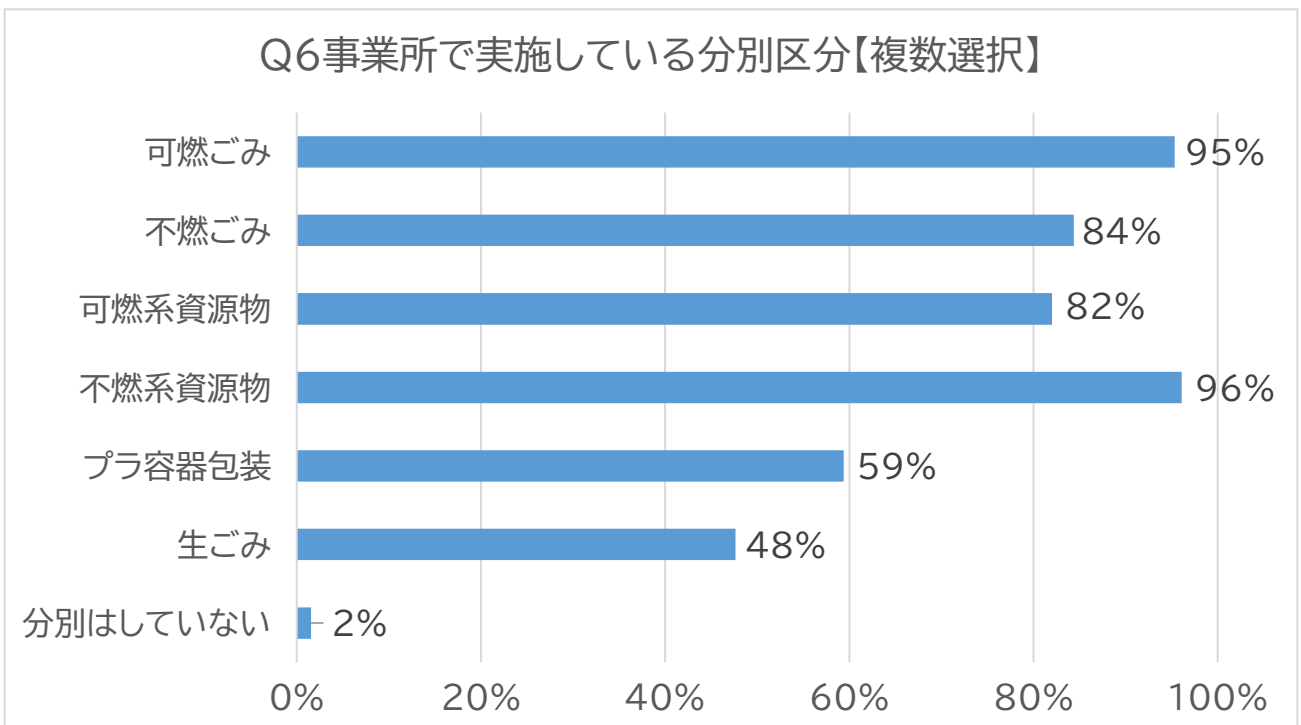
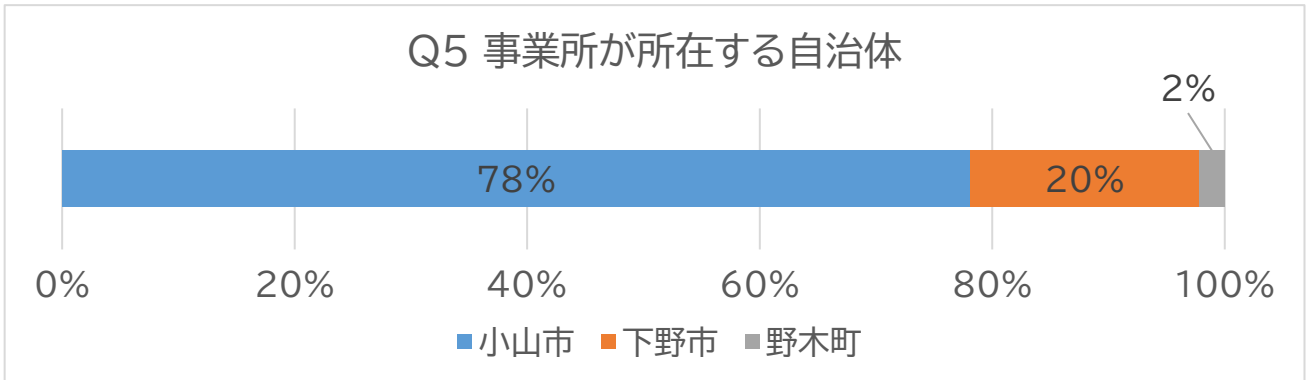
(5)指定ごみ袋制度に関する御意見(自由意見)について Q24

(6)連絡先 Q25

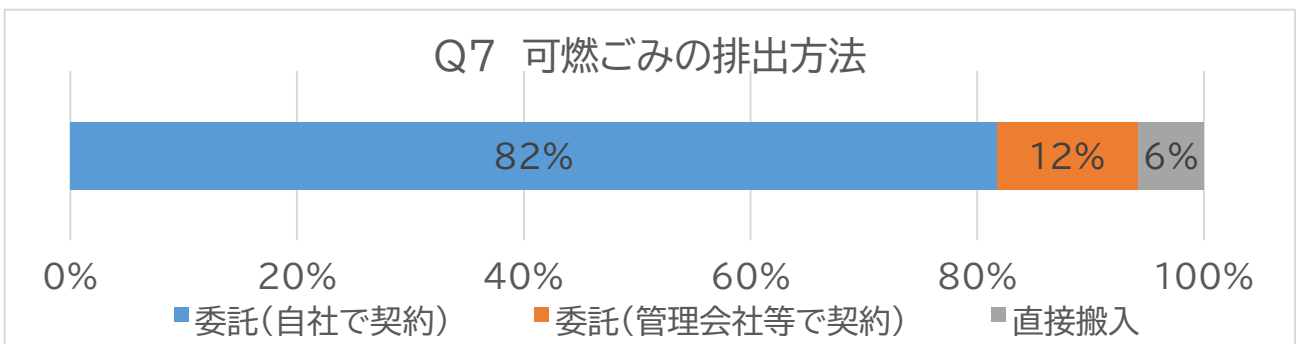
6.アンケート結果

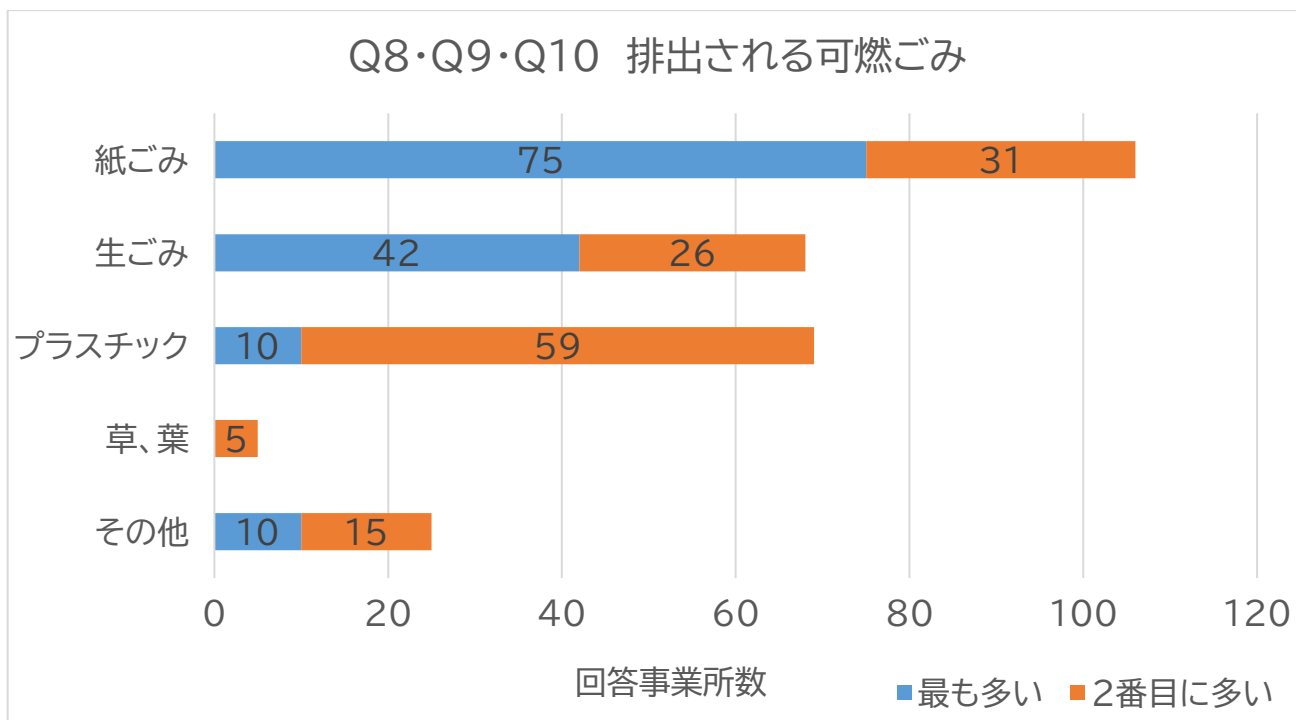
(1)事業所属性について





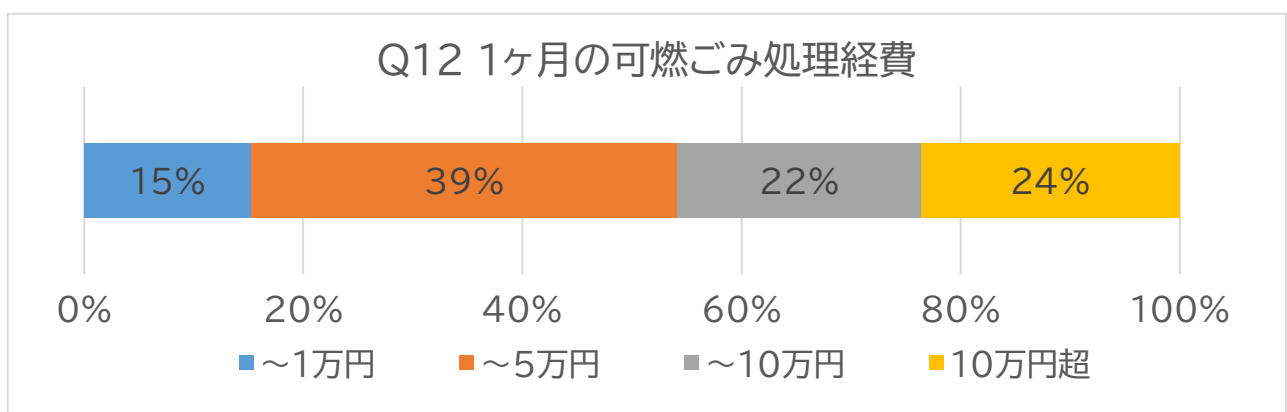
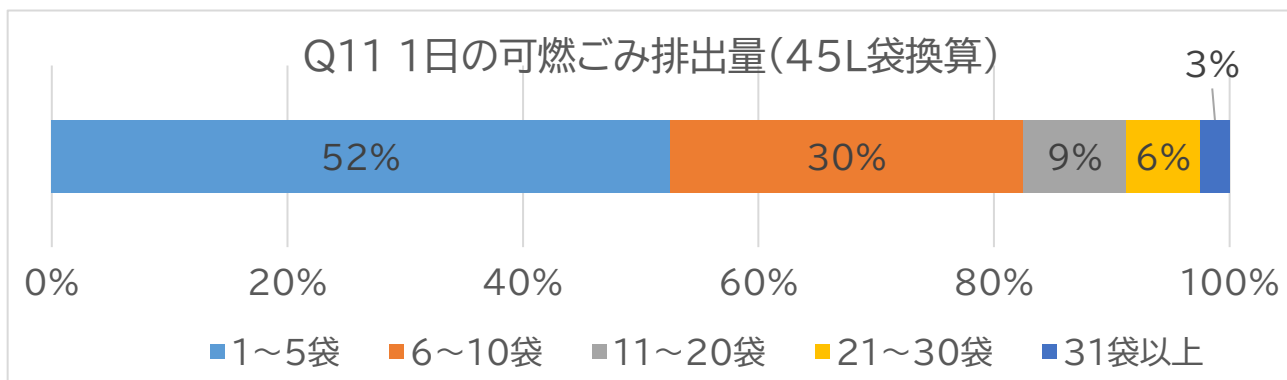
(2) 事業所での廃棄物処理について





その他=客が持ち込んだ(残した)ごみ、段ボール、ビニール、おむつ、新聞、飲料容器、不燃ごみ(ビン・缶・ペットボトル)

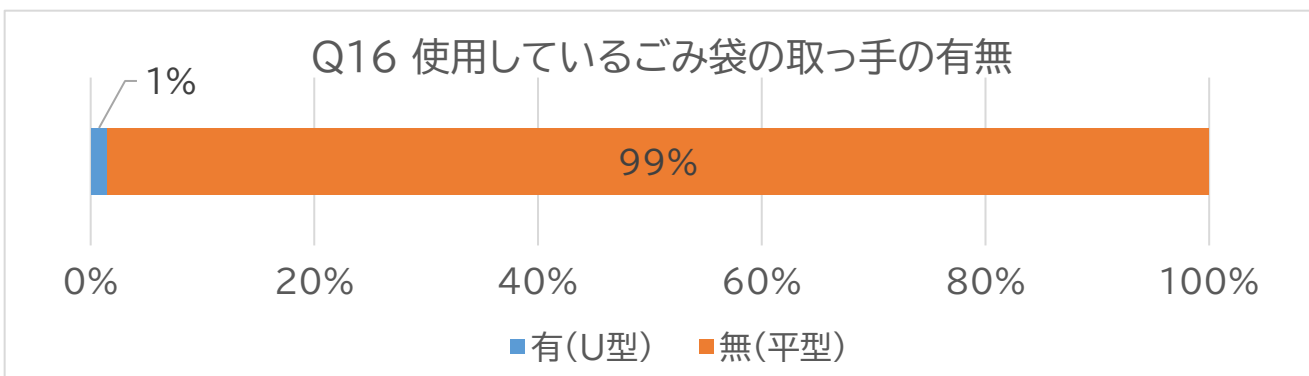
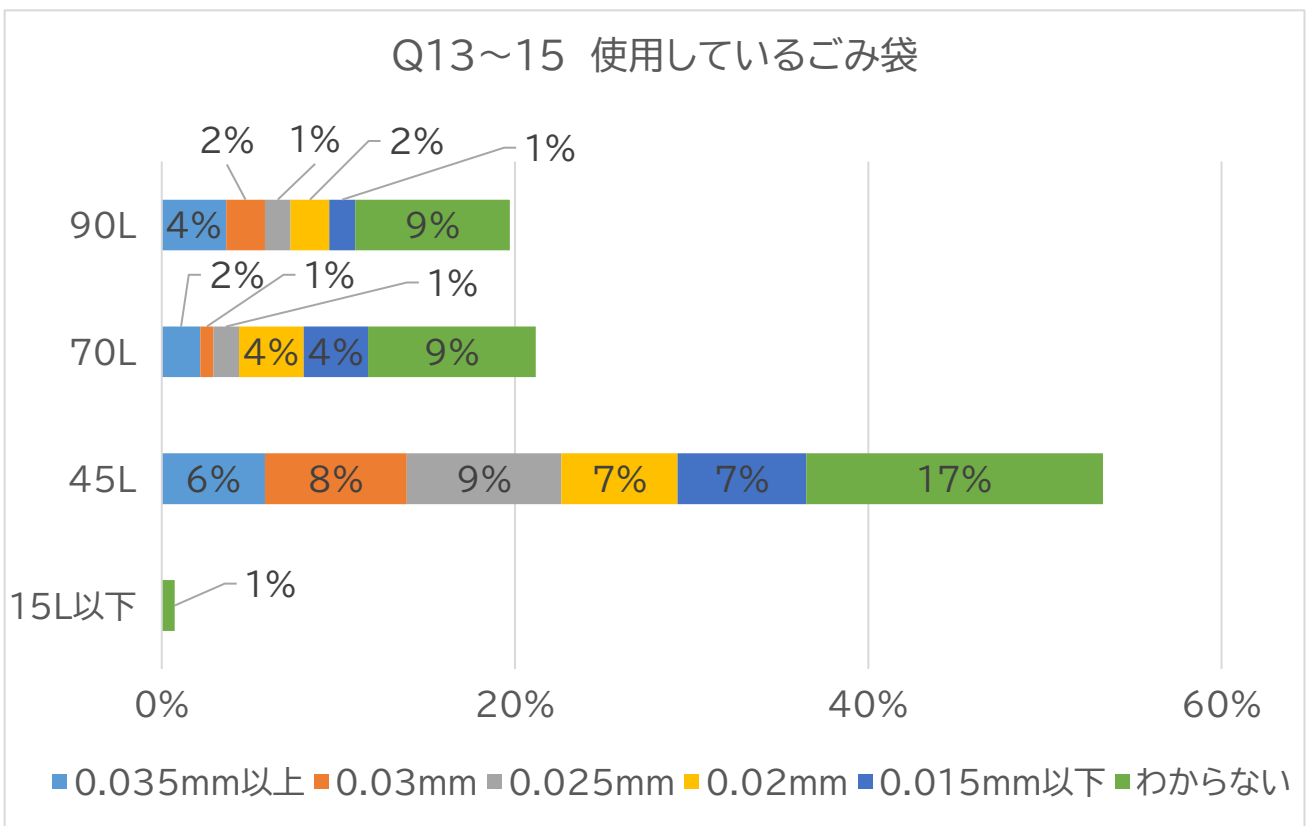
※グラフ中の「紙ごみ」と「プラスチック」は、それぞれ『資源化できない紙ごみ』と『プラマークのないプラスチックごみ』を表します。

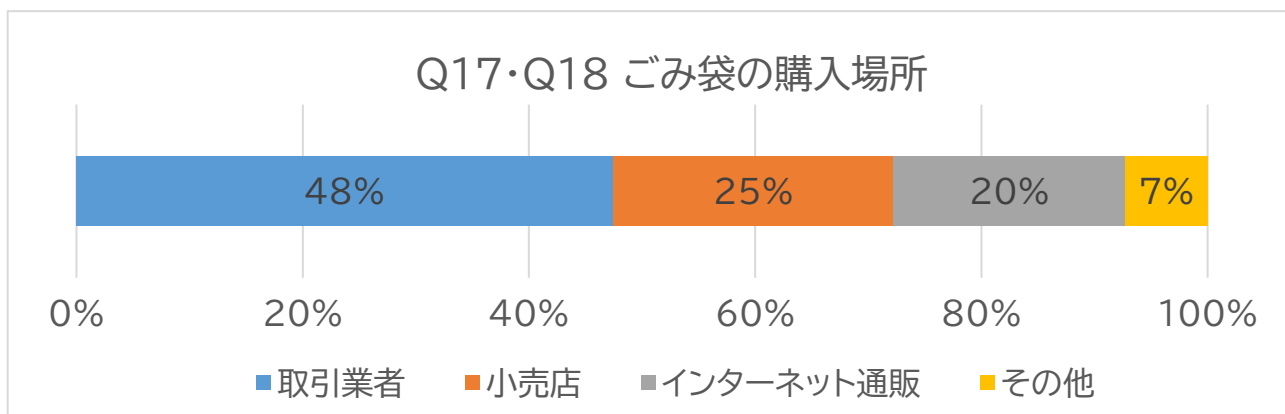


(2)事業所での廃棄物処理について

- ・事業系可燃ごみとして多く排出されるものは、紙ごみ・生ごみ・プラスチックの順でした。
- ・排出量については一部で多量排出事業所もありましたが、5 袋/日(45L 袋換算)以内の事業所が 50%以上を占めていました。また、今回のアンケートは排出量の多い事業所を対象にしたことから、事業所全体として見ると、これより排出量が少ない事業所が多くを占めると考えられます。

(3)可燃ごみ排出に使用しているゴミ袋について



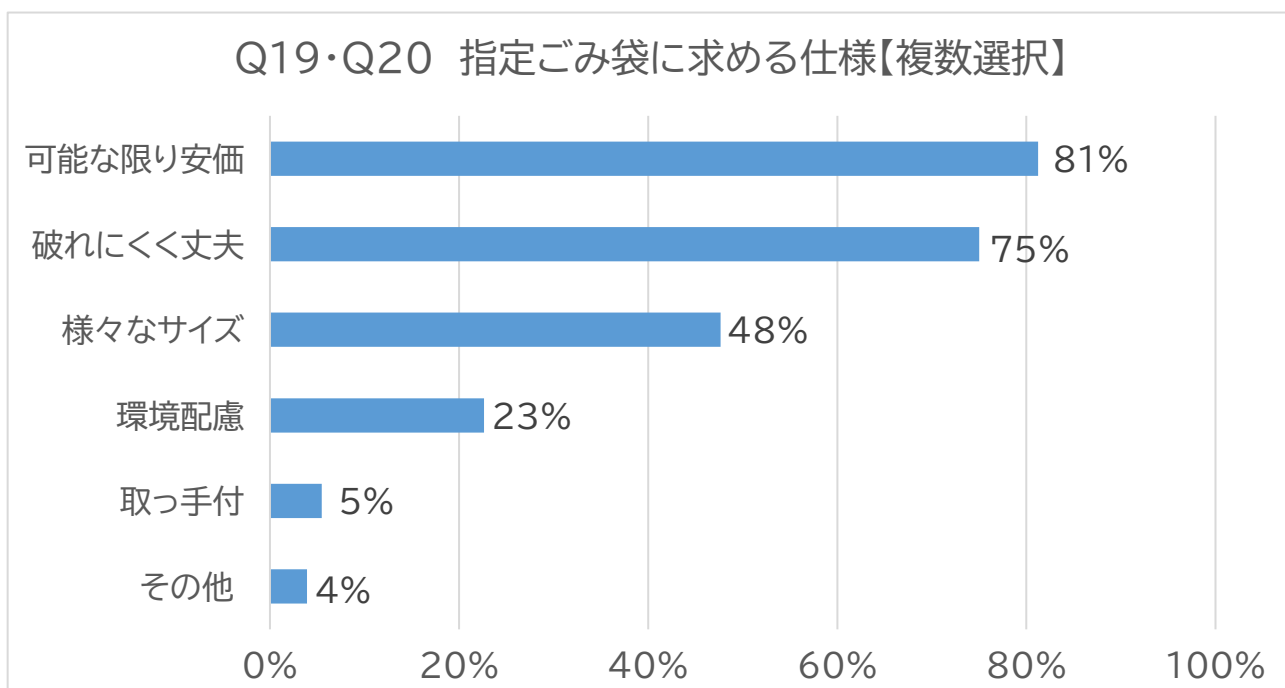


その他＝本部(本社、管理会社)に発注、商社から購入

(3)可燃ごみ排出に使用しているごみ袋について

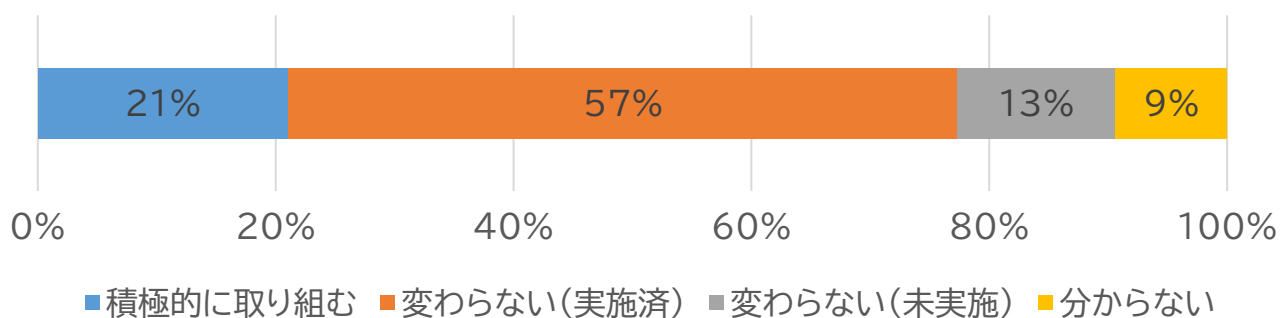
- ・事業所で使用しているごみ袋で最も多かったのは 45L 袋でした。
- ・45L 袋について、家庭系ごみの調査では 0.02mm 以下の需要が多かったのに対し、事業系ごみでは 0.025mm以上の需要が多い傾向が見られました。
- ・45L袋に次いで、70Lと 90L袋の需要が同程度で見られました(それぞれ約 20%)。
- ・事業系ごみではごみ袋の取っ手の需要は低いことが分かりました。

(4)指定ごみ袋制度について

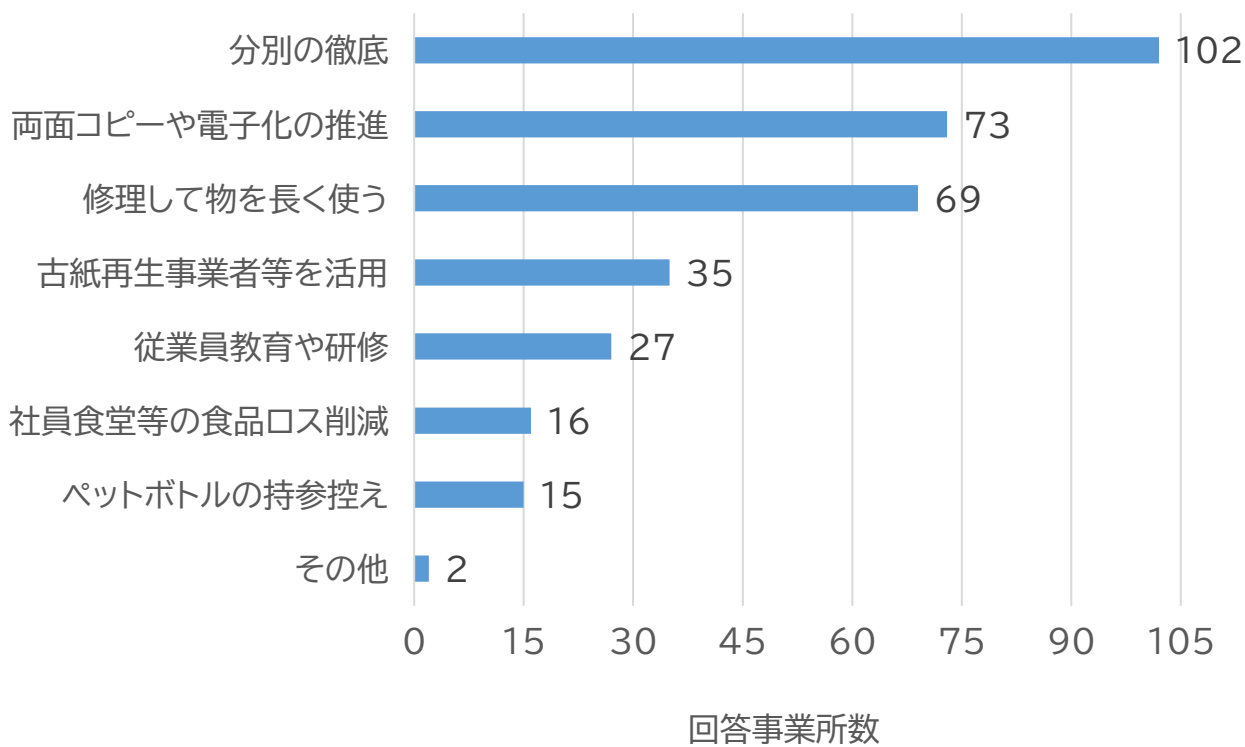


その他＝一度に大量に入手可能であること、在庫を消費するための移行期間を設けること、現在使用している容器に対応した 90Lの袋であること

Q21 指定ごみ袋導入後のごみ減量等への姿勢

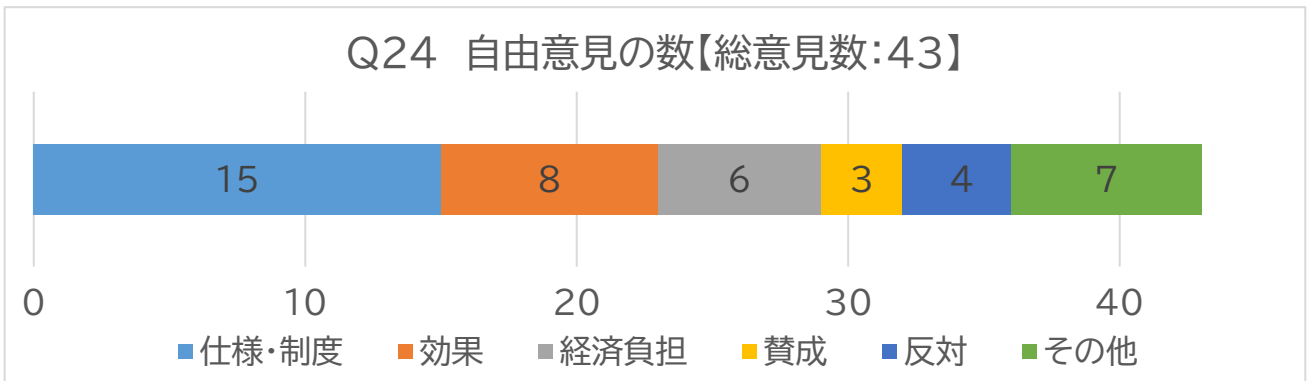


Q22・Q23 ごみ減量等に関する取り組み(予定含)



その他=従業員のペットボトル持参を控えるのではなく、ごみを持ち帰るようにする。
生ごみを堆肥化処理し、ごみを減量している。

(5)指定ごみ袋制度に関する御意見(自由意見)について



①仕様・制度に関する御意見

No.	業種	御意見
1	製造業	弊社は食品を扱う工場のため、使用時に破れてしまうと異物混入のリスクに繋がります。破れにくく丈夫な袋を導入していただきたい。
2	製造業	事業所については、指定袋ではなく従来どおり、重量等に見合う『指定袋代』を課金する形を求めます。理由としましては、指定袋の在庫切れ等で排出できない、指定袋以外を使用してしまう等のトラブル発生のリスクがあるため。
3	製造業	可燃のごみ袋は工場内を90L、事務所は45Lを主に使用しています。サイズ選択はできた方が良く考えておりますが、選択できないのであれば大きいサイズで統一できた方が良く考えております。
4	製造業	市内のスーパー、コンビニなどどこでも買えるようにしてほしい。
5	金融・保険業	袋の購入方法はどうなりますか？できればごみの持ち込み同様、中央清掃センターにて購入し代金後払い希望。
6	卸売・小売業	定価での導入を希望します。
7	卸売・小売業	定価導入を希望いたします。
8	卸売・小売業	事業者向けの枚数が多く、低価格のものを作って欲しい。
9	卸売・小売業	指定のごみ袋のネット購入は可能でしょうか？ 宅配で届くとありがたいと思います。
10	卸売・小売業	市場で独自のごみ袋を作っているため導入する時期やタイミングに余裕をもって(1年前くらい)知らせてほしい。また、指定したごみ袋の販売を開始する時期も同じくらい余裕が欲しい。
11	卸売・小売業	営業の業態上、1日に使うごみ袋はかなりの量となるので、ごみ袋を購入できるのが365日24時間で即時納品でないとい困ります。
12	卸売・小売業	一般家庭は、指定袋でいいと思いますが、スーパーなどは、業務用で、特別枠で、指定袋ではなく進めて欲しい。
13	飲食店・宿泊業	指定袋制度にすると、サイズにより欠品する恐れがありますので、その辺が気になります。
14	飲食店・宿泊業	現在、厚手の袋を使用している。業種によって使いたい厚さがある。
15	医療・福祉	分別しやすいように袋に種類別の名前を明記して欲しいです。

②効果に関する御意見

No.	業種	御意見
16	不動産・ 物品賃貸業	指定袋を使用したとしても、ごみの減量にはならないと思う。 指定袋は市販の袋より単価が高くなります。
17	卸売・小売業	指定袋制度導入で、一般家庭でのレジ袋等のリユースが困難になる。結果、今以上にプラスチックごみが増える事にならないか十分に検討して頂きたい。
18	卸売・小売業	指定袋を購入、使用することで一般家庭はごみ処理費用を負担したかのような心理になり分別等のレベルが下がる心配をします。
19	卸売・小売業	指定袋に変えてもごみは減らない。コストもかかってしまう。販売箇所が限られているため、ポイ捨てなども増えてしまうのでは・・・
20	卸売・小売業	単純指定袋制度ではメリットが少なく、ビニール袋をごみ袋としてリユースできなくなるなどのデメリットが目立ちます。
21	飲食店・宿泊業	袋の色の指定程度にしてほしい。分別しない人は何を言ってもしない。分別する人は何も言わなくてもやる。
22	飲食店・宿泊業	1枚の単価が割高になるのでは？いくら指定袋にしても分別しない人は変わらないと思う。

③経済負担に関する御意見

No.	業種	御意見
23	不動産・ 物品賃貸業	指定袋は市販の袋より単価が高く、経費が増えることになります。
24	不動産・ 物品賃貸業	極力安価な袋にしてほしい。
25	製造業	現在、市販のビニール袋の他、生産過程で排出されるビニール袋を再利用して、経費を低減しています。指定袋制度の導入で経費増が懸念されます。
26	医療・福祉	一日に出る、利用者さんのオムツ、パットのごみが半端なく多いので、コストを考えて、なるべく安価なお店での袋の購入をしています。今後、指定袋の導入において、それ以上の価格になると経費が掛かり負担増となるため、できれば今の状況を維持して欲しい。
27	医療・福祉	どうしてもごみが出る業種であるため、指定の袋になることで、費用がかさむことを心配しています。
28	その他	全てにおいて値上がりの世の中、指定袋購入であれば既製品購入の金額と変わらない金額にして頂きたい。

④賛成の御意見

No.	業種	御意見
29	製造業	指定袋制度には賛成。
30	卸売・小売業	賛成です。
31	建設業	協力いたします。

⑤反対の御意見

No.	業種	御意見
32	卸売・小売業	事業系指定袋制度にする意味がわからない。 ごみ処理手数料を含むならわかるが、指定袋を販売する会社が限定され強制的に仕入れさせられるのでは？
33	飲食店・宿泊業	物価高騰、人件費高騰、コロナ以前と比べ売上減少、様々な事案から苦しい経営状態の時に、この政策は必要無いと思う。
34	飲食店・宿泊業	指定袋にしないでください。
35	医療・福祉	指定袋制度にしないでほしいです。

⑥その他の御意見

No.	業種	御意見
36	製造業	家庭ごみ収集所に出している事業所も相当数あると思われる。規制強化を望みたい。また、家庭ごみでもルールを守らない人が多い。指定袋の金額にコストを上乗せするなどして自治会への助成を行い、排出ルールの徹底や清掃などを行って頂きたい。(指定袋を使わずにゴミを出す人が相当数出てくると思われる。そのゴミが放置されると、通学路等の道路使用に支障をきたすことが危惧される)
37	建設業	一般廃棄物収集運搬許可業者に収集運搬委託している業者は同じ扱いになりますか？
38	卸売・小売業	自社の指定の袋を使うため必要なし。
39	卸売・小売業	指定袋を買うことを嫌がるお客様が収集所にゴミを捨てず、当店で捨てにくることが心配です。今でもご高齢の方やペットボトルの収集日が少ないと平然と店に捨てに来る方が一定数いて困っています。
40	卸売・小売業	現状、ごみ袋に処理料を含んでおり指定袋導入後の運用方法を模索中です。
41	飲食店・宿泊業	プラゴミはマークがあっても無くても一緒にして欲しい。
42	医療・福祉	市民の賛同を得る制度に期待します。
43	その他	事業系の場合そもそもゴミ袋を購入しているので、削減にどう繋がるかが疑問。

(4)指定ごみ袋制度について (5)自由意見について

- ・事業所がごみ袋に求める仕様の上位3つ「安価であること・丈夫であること・複数のサイズがあること」は住民を対象にしたアンケートの結果と同じでした。
- ・指定ごみ袋導入後のごみ減量等への姿勢について、「すでに減量等に取り組んでおり変わらない」との回答が 56%で最も多く見られました。また、「積極的に減量等に取り組む」との回答も 20%程度ありました。
- ・Q24 でいただいた御意見は関係者で共有し、今後の指定ごみ袋制度の設計や廃棄物減量化施策に活かせるように検討してまいります。